

児童生徒の自殺防止サポート活動について

都内では、毎年自殺者数が2千人を超えており、平成23年以降は減少傾向にあるものの、依然として、10代の若者の死因の第一位は自殺となっている。そこで、自殺する子供を一人でも減らすため、下記のとおり「児童生徒の自殺防止サポート活動」を実施することとし、都内コンビニエンスストア各社に対し、協力を依頼する。

- 1 事業名
児童生徒の自殺防止サポート活動
- 2 対象者
店舗従業員等が業務の中で関わる児童生徒
- 3 事業内容
事業者が、児童生徒の問題行動には、自殺直前のサインが隠れている可能性があることを認識し、積極的な声掛け、注意深い見守り、相談先の情報提供及び警察又は消防への通報などを行うことにより、自殺防止を図る。
- 4 実施事業者（8社）
 - (1) 株式会社セブン・イレブン・ジャパン
 - (2) 株式会社ローソン
 - (3) 株式会社ファミリーマート
 - (4) ミニストップ株式会社
 - (5) 山崎製パン株式会社
 - (6) 株式会社ポプラ
 - (7) 国分グローサースチェーン株式会社
 - (8) 株式会社スリーエフ
- 5 事業開始
平成29年2月（予定）
- 6 その他
依頼後、店舗従業員のためのマニュアル等を、各社に配布する。（別紙参照）

児童生徒の自殺防止サポート活動

東京都と、都内で営業している事業者が連携し、自殺する子供を一人でも減らすための取組として、従業員による、店舗での児童生徒の自殺防止サポート活動を行います。

取組内容

- ・ 来店した子供への積極的な声掛け
- ・ 様子の気になる子供の注意深い見守り
- ・ 子供の安全に関わると判断した場合の警察等への通報

をお願いします



店舗での取組内容

子供の顔を見て、笑顔であいさつ

こんにちは

- ・ よく怪我をしている
- ・ 学校がある時間帯によく来店する
- ・ ひどく落ち込んだ様子をしている
- ・ 服装が乱れている など

- ・ ひどい怪我を放置している
- ・ アルコールや薬物を摂取している
- ・ トラブルに巻き込まれている
- ・ いじめにあっている など

声かけ、注意深い見守り

子供の安全に関わる状況

警察・消防へ通報

何か困っているの？

具合悪そうだけど大丈夫？

「死にたい」「消えてしまいたい」などと口にする子供がいたら…？

- ① 子供の気持ちを受け止め、共感します。
例)「死にたいくらい苦しいんだね。」「つらかったんだね。」
・ 自殺について話しても、自殺する危険性は高まりません。
・ 「頑張れ」「逃げてはダメだ」「命を粗末にするな」といった言葉は避けましょう。
・ 自殺を口にする人は、自殺しないということはありません。
- ② 誰かに相談するよう助言し、必要に応じて相談先を紹介します。
例)「困ったことは、信頼できる大人に相談してみよう。」「誰か相談できる大人はいないの？」「相談できるところを紹介しようか？」「紹介してほしいときは、いつでも言ってね。」

相談できるところ

東京都自殺相談ダイヤル ~こころといのちのほっとライン~	0570(087478)	14時~翌朝5時30分(年中無休)
いじめ相談ホットライン	0120(53)8288	24時間(年中無休)

※ 0570 で始まるナビダイヤルは、携帯電話の無料通話、かけ放題プラン等の対象外です。

子供の問題行動には、自殺直前のサインが隠れている場合があります。
長期休み明け直後は、子供の自殺が増える傾向があるため、特に注意が必要です！